

(様式4)

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	4	学校名	宇都宮市立築瀬小学校
-----	---------------	------	---	-----	------------

令和6年度 健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

1 健康（体力・保健・食・安全）に関する主な実態

(1) 定期健康診断・元気っ子健康体力チェックから

- ・ 身長、体重は、男女とも県の平均とほぼ同様である。
- ・ 学年に応じて、能力のばらつきが見られる。全体的に見ると、ほとんどの種目において全国平均を下回っており、特に走力（50m走・シャトルラン）・投力（ボール投げ）・立ち幅跳び（跳躍力）に落ち込みが見られる学年が多い。

(2) 元気っ子健康体力チェックのアンケート及び国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから（※体力・保健・食・安全について、それぞれ記入する。）

- ・ 運動が好きと感じている児童の割合は約9割だが、運動が得意な児童、自分の体力に自信がある児童はそれぞれ約7割である。
- ・ 早寝早起きを心掛けている児童は全体の約7割である。
- ・ ほとんどの児童が朝食をきちんと食べているが、約1割の児童が「時々食べない」「毎日食べない」と回答している。
- ・ 交通事故防止や不審者から身を守ろうとする意識は高い。

(3) 授業や健康安全・体育的行事等への取組状況から

（※体力・保健・食・安全について、それぞれ記入する。）

- ・ 体育の授業だけでなく、休み時間に鬼ごっこや短縄、ドッジボール等、進んで友達と遊ぶ児童が見られる一方で、教室や図書室等の室内で過ごす児童も見られる。
- ・ 手洗い・うがいをよく行い、感染予防に努める児童が多い。
- ・ お弁当の日に向けての計画や当日の準備等、意欲的に取り組む児童が多い。
- ・ 集団登下校の様子から、安全意識の高さを感じられるが、わずかだが意識の低い行動も見られる。今後も指導の継続を要する。

2 今年度の重点目標

心身ともに健全で安全な生活を送るための資質・能力を備え、進んで健康・体力の向上を目指す児童の育成—教科体育における苦手運動の継続的な実施による克服、目標達成に向けた体力づくりへの主体的取組の充実、発達段階に応じた保健指導等の充実—

3 今年度の取組（「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」に関する取組は文頭に★，「令和6年度指導の重点」に関する取組は文頭に□）

(1) 望ましい生活習慣の育成

- ★□ 朝食を食べていない児童の把握と、一人一人の状況に応じた適切な個別指導の実施（通年）
 - ・ 食育だよりの発行（通年）
 - ・ 保健だよりの発行（通年）
 - ・ 睡眠を中心とした児童の生活習慣をアンケート等で把握し、課題に応じた指導を実施（通年）

(2) 健康・体力の向上

- ★□ 運動領域ごとの補強運動の導入（通年）
- ★□ 教科体育での学習カードの活用や場の設定の工夫による活動量の確保（通年）
 - 養護教諭・栄養士と連携した保健学習や学級活動（通年）
 - 運動に親しみ健全な仲間づくりができる共遊の時間の設定（通年）
 - 水泳、持久走、縄跳びがんばりカードの使用（7月、11月、12月）
 - 運動に関するイベントの実施（9～1月）
（ドッジボール大会、元気っ子チャレンジの種目に取り組む大会）
 - 「思いっきり遊ぼう活動」を基盤とした外遊びの励行（通年）

(3) 家庭・地域との連携協力

- ★□ 保護者の健康に対する関心を高めるための保健だよりの発行（通年）
- ★□ 長期休業中家庭で体力づくりに取り組めるようなチャレンジカードの作成（7月、12月）
- ★□ 家庭との連携による「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進（通年）
- ★□ 健康診断や生活習慣チェックシート等の結果の家庭への周知（4月、9月、1月）
- ★□ 生活習慣改善プログラムの実施（9月、1月）
 - ・ P T Aや地域団体と連携した下校時の安全パトロール（通年）